

令和8年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

株式会社竹中工務店

代表取締役社長 丁野 成人

企業概要

<https://www.takenaka.co.jp/>

所在地：大阪府大阪市中央区本町4丁目1-13

創立：1899年

資本金：50,000百万円

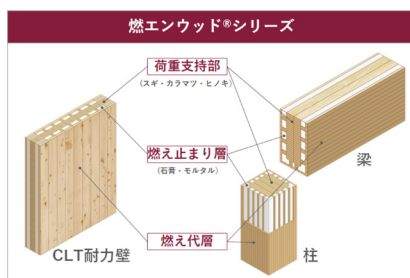
従業員：7,907人

事業概要：建築工事及び土木工事に関する請負、設計及び監理 他

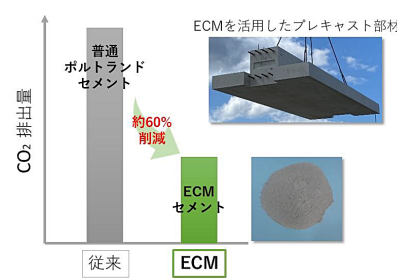


受賞のポイント

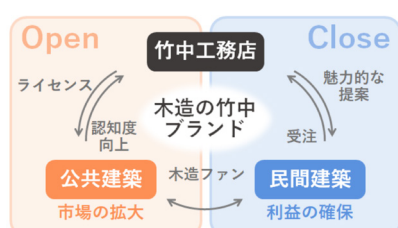
- ①脱炭素社会の実現に向け木造建築への注目が高まる中、木造建築の課題であった「耐火性能」と「大規模化」を解決する耐火集成材「燃エンウッド®」を開発している。また、セメントの6~7割を高炉スラグ微粉末に置換して、材料製造時のエネルギー消費量とCO₂排出量を6割削減できる「ECMコンクリート®」を開発している。これらの技術について、強い特許群を構築している。
- ②「燃エンウッド®」の普及策を知財戦略と一体に構築している。公共建築向けにはライセンス許諾して市場を拡大するオープン領域とする一方、民間建築向けは特許権で競合他社の参入を抑制し利益を確保するクローズ領域とする、オープン・クローズ戦略を展開している。公共建築でのオープン活用により認知度が向上し、「木造の竹中」のブランドが民間建築にも波及して、多くの受注につながっている。
- ③建設業に特有の「技術開発成果が十分水平展開されない」という課題に対し、知的財産の活用展開を推進する社内体制を構築している。知財部門は、自社の保有技術を品質・コスト等の観点から技術情報データベースに整理し、新たなプロジェクトへの適用を促進する等、社内の技術コンサルの役割を担う。その結果、毎年延べ800技術がプロジェクトで活用されている。



燃エンウッド® 柱・梁・耐力壁の基本構成



ECMコンクリート®によるCO₂排出量削減効果



燃エンウッド® オープン・クローズ戦略



知的財産の活用展開を促進する仕組み